

第4期高知県医療費適正化計画について

目的

国民の高齢期における適切な医療の確保を図る観点から、医療費適正化を総合的かつ計画的に推進し、国民の生活の質の維持及び向上を確保しつつ、今後医療費が過度に増大しないようにしていくとともに、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図る

位置づけ

- 策定主体：都道府県
- 策定根拠：高齢者の医療の確保に関する法律第9条、国が策定する「医療費適正化に関する施策についての基本的な方針」
※国は、都道府県計画を積み上げて「全国医療費適正化計画」を策定
- 計画期間：令和6年度から令和11年度（6年間）
- 進捗管理：年度ごとに進捗状況を公表し、計画最終年度（令和11年度）には進捗状況に関する調査及び分析を実施
計画期間終了後の翌年度（令和12年度）に目標の達成状況を中心とした実績評価を実施

構成

- 第1章 医療費適正化計画に関する基本的事項
- 第2章 医療費を取り巻く現状と課題
- 第3章 計画における目標と取組
- 第4章 計画の推進

医療費推計

厚生労働省提供による医療費推計ツールを使用し、令和11（2029）年度の適正化後の医療費の見込みを算出

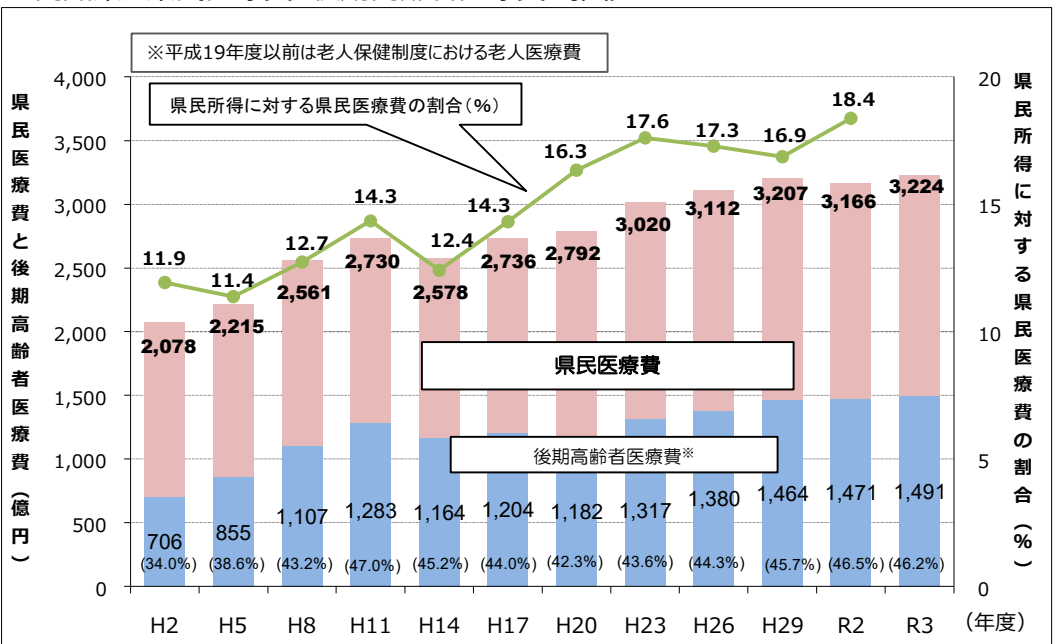
他計画との関連

健康増進計画、保健医療計画、介護保険事業支援計画、国民健康保険運営方針等との調和を図り策定

計画名	計画期間	
	前期	後期
高知県医療費適正化計画	第3期 (H30～R5)	第4期 (R6～R11)
高知県健康増進計画 「よさこい健康プラン21」	第4期 (H30～R5)	第5期 (R6～R17)
高知県保健医療計画	第7期 (H30～R5)	第8期 (R6～R11)
高知県循環器病対策推進計画	第1期	第2期 (R6～R11)
高知県がん対策推進計画	第3期 (H30～R5)	第4期 (R6～R11)
高知県高齢者保健福祉計画 (介護保険事業支援計画)	第7期 (H30～R2) 第8期 (R3～R5)	第9期 (R6～R8) 第10期 (R9～R11)
高知県国民健康保険運営方針	第1期 (H30～R2) 第2期 (R3～R5)	第3期 (R6～R11)

高知県の現状

○高知県の県民医療費と後期高齢者医療費の推移



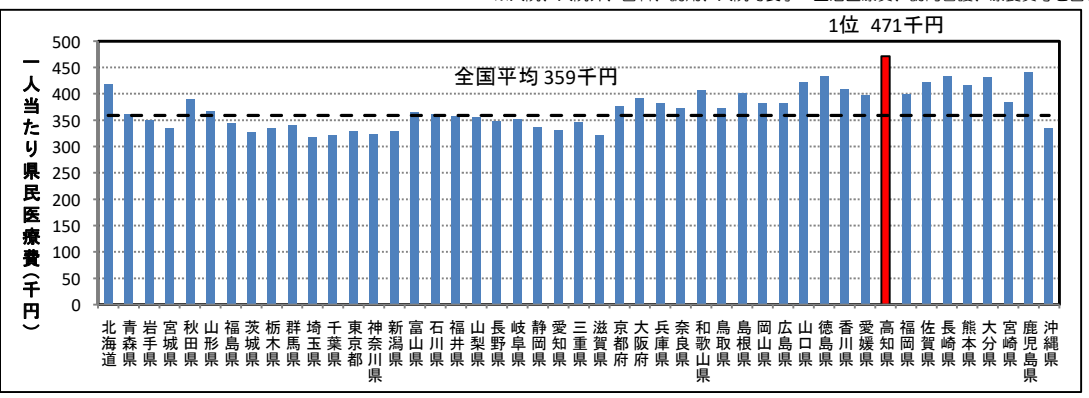
県民医療費

- 令和3年度の本県の県民医療費は約3,224億円で毎年増加傾向。
- 後期高齢者医療費は約1,491億円で県民医療費の46.2%を占め、全国平均の37.9%を大きく上回っており、高齢者の医療費が県全体の医療費に大きな影響を与えている。

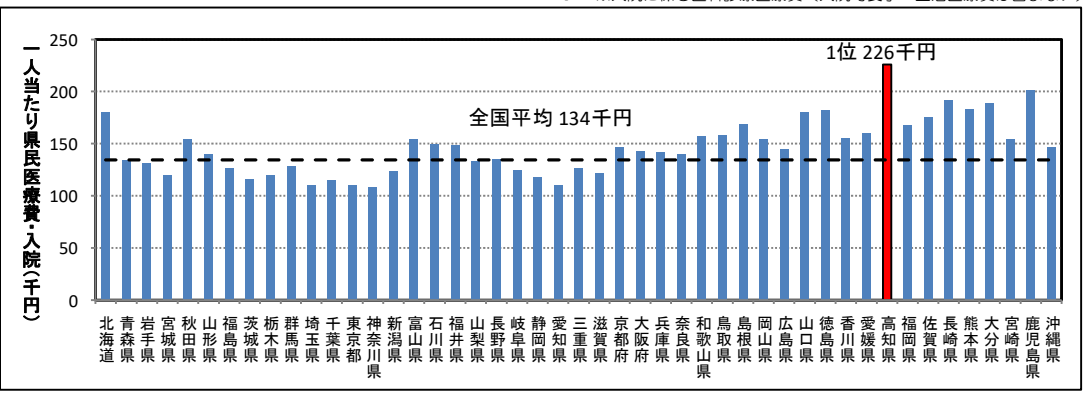
1人当たり医療費

- 令和3年度の本県の1人当たり県民医療費は471千円で全国1位。
- 特に、1人当たり入院医療費は226千円（全国1位）と全国平均の約1.7倍。
- 一方、1人当たり入院外医療費については128千円（全国17位）と全国平均並みであり、入院医療費が、県民医療費を押し上げる要因となっている。

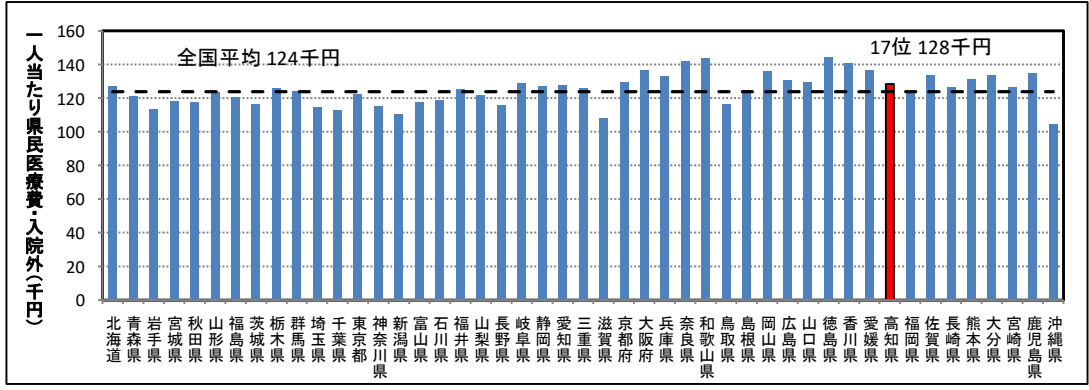
○令和3年度 1人当たり県民医療費 ※入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事・生活医療費、訪問看護、療養費等を含む



○令和3年度 1人当たり県民医療費（入院） ※入院に係る医科診療医療費（入院時食事・生活医療費は含まない）



○令和3年度 1人当たり県民医療費（入院外） ※入院外に係る医科診療医療費（調剤医療費は含まない）



第4期高知県医療費適正化において定める目標 (住民の健康の保持の推進に関する達成目標①)

基本理念

県民の生活の質の確保及び向上や良質かつ適切な医療の提供を図ることにより、結果として医療費が過度に増大しないように推進する。

○本県の課題である壮年期の死亡率の改善を図るとともに、より多くの県民が健康づくりに取り組むことができる環境づくりを推進し、県民の健康と長寿を目指す。

○高知版地域包括ケアシステムの構築を図り、生活の質の確保及び向上を目指す。

項目		第4期目標 (R6~R11)	第3期目標 (H30~R5)	現状	関連計画
1	特定健診実施率	・70%	・70%	・53.7% (R3)	健康増進計画
2	特定保健指導実施率	・45%	・45%	・24.4% (R3)	
3	メタボ該当者及び予備群の減少率	・平成20年度比25%以上減少	・平成20年度比25%以上減少	・10.5% (R3)	
4	たばこ対策	20歳以上の喫煙率	・男性20%以下 ・女性5%以下	・男性27.0% ・女性6.4% (R4)	
5		受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する人の割合	・家庭3%以下 ・職場10%以下 変 ・飲食店 4.8%以下	・家庭3%以下 ・職場10%以下 ・飲食店14%以下	
6	高齢者に対する予防接種	・県内実施医療機関のどこでも予防接種を受けられる体制の維持の継続	・県内実施医療機関のどこでも予防接種を受けられる体制の維持の継続	・県内実施医療機関のどこでも予防接種を受けられる体制を確保	
7	循環器病対策	降圧剤服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合（特定健診受診者）	・30%未満	・30%未満	・男性36.0% ・女性34.0% (R2)
8		収縮期血圧の平均値（40歳以上）	・130mmHg以下	・130mmHg以下	・男性135mmHg ・女性134mmHg (R4)
9		収縮期血圧130mmHg以上の割合（40歳以上）	・45%以下	・45%以下	・男性56.3% ・女性59.6% (R4)
10		脂質高値（LDLコレステロール160mg/dL以上）の人の割合	新 ・男性 7.6% ・女性 5.6%	・目標設定なし	・男性9.5% ・女性7.1% (R4)

第4期高知県医療費適正化において定める目標 (住民の健康の保持の推進に関する達成目標②)

項目		第4期目標 (R6~R11)	第3期目標 (H30~R5)	現状	関連計画	
11	糖尿病性腎症 重症化予防対策	糖尿病性腎症による 新規透析導入患者数 変・100人以下	・108人以下	・108人 (R2~R4平均)	健康増進計画	
12		HbA1c が一定以上の割合 変・HbA1c 8.0%以上が 1.15%以下	・HbA1c 7.0%以上が 25%以下	・HbA1c 7.0%以上 男性38.8% 女性37.7% (R2) ・HbA1c 8.0%以上 1.31% (R2)		
13		未治療ハイリスク者の 指導成功率	・50%以上	・50%以上		・35.5% (R3)
14		治療中断者の指導成功率 変・70%以上	・50%以上	・50%以上		・68.7% (R3)
15		糖尿病有病者 (糖尿病が強 く疑われる人) の割合 新・増加させない	・目標設定なし	・男性16.7% ・女性 8.8% (R2)		
16	高齢者の心身機能の低下等に起因した 疾病予防・介護予防の推進	新 ・「高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施」における地域課題 に即した取組の実施	・目標設定なし	一体的な実施を行っている団体 ・R5年度 29市町村 ・R6年度 34市町村	介護保険事業 支援計画	
17	がん検診	検診受診率 (40~50歳代) 変・60%以上	・50%以上	・肺がん59.2% ・胃がん41.6% ・大腸がん46.6% ・子宮頸がん47.4% ・乳がん51.7% (R4)	がん対策推進計画	
18		精密検査受診率 (地域・職域) 変・90%以上	・大腸・子宮頸がん 90% ・肺・胃・乳がん 現在の受診率の維持・向上	・肺がん71.4% ・胃がん62.0% ・大腸がん56.6% ・子宮頸がん57.7% ・乳がん89.9% (R4)		
19	健康づくりの県民運動	高知家健康パスポート 変 ・1日1回以上健康パスポート アプリを利用している人数 (月平均人数) 23,000人	・高知家健康パスポート I 取得者数 5万人以上	・健康パスポート I 取得者数 50,688人 (R4.3) ・1日1回以上健康パスポート アプリを利用している人数 14,411人 (R5.10)	健康増進計画	

第4期高知県医療費適正化において定める目標 (医療の効率的な提供の推進に関する達成目標)

項目		第4期目標 (R6~R11)	第3期目標 (H30~R5)	現状	関連計画
1	病床機能の分化及び連携並びに地域包括ケアシステムの構築	・病床機能の分化及び連携並びに地域包括ケアシステムの構築の推進	・病床機能の分化及び連携並びに地域包括ケアシステムの構築の推進	・地域医療構想の推進、高知版地域包括ケアシステム構築の推進	保健医療計画
2	後発医薬品の使用割合	変 ・ 全国平均並み (全国83.2% (R4)) ※この目標については、全国目標の見直しを踏まえ、R6に見直し予定	・80%以上	・80.3% (R4)	
3	バイオ後続品の普及	新 ・80%以上置き換わった成分数が全体の60%以上	・目標設定なし	・25% (R3)	
4	医薬品の適正使用	・医薬品の適正使用の推進	・医薬品の適正使用の推進	・県民への啓発 ・重複・多剤服薬通知事業の実施	
5	抗菌薬処方適正化	新 ・急性気道感染症、急性下痢症への抗菌薬処方令和元年度比で50%削減	・目標設定なし	抗菌薬の薬剤料 (R元) ・急性気道感染症：2.43億円 ・急性下痢症：0.62億円	—
6	白内障手術の適正化	新 ・白内障手術の外来実施の促進(全国60.1% (R3))	・目標設定なし	・外来実施率52.8% (R3)	—
7	化学療法の適正化	新 ・外来化学療法の実施件数基準値 (R3) より増加	・目標設定なし	・21,947件 (R3)	がん対策推進計画
8	リフィル処方箋	新 ・リフィル処方箋の活用の推進	・目標設定なし	・処方回数534回 (R4.5~7月) (全処方の0.051%)	—
9	高齢者の大腿骨骨折	新 ・骨粗鬆症検診の実施17市町村で実施	・目標設定なし	・実施市町村なし (R4)	健康増進計画
10		新 ・骨粗鬆症検診受診率受診率の増加	・目標設定なし	・0% (R4)	

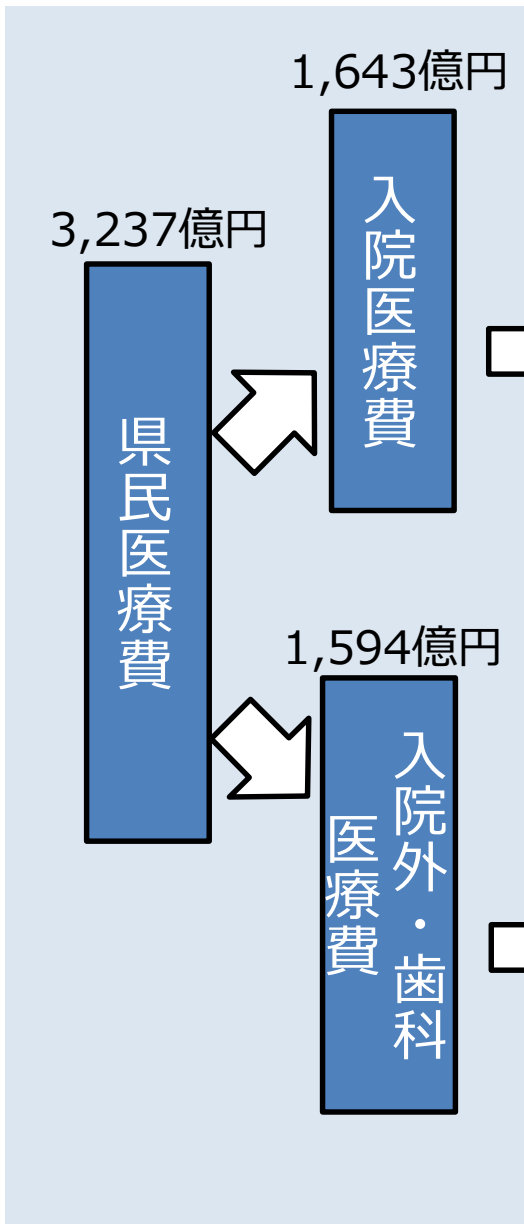
第4期高知県医療費適正化の進捗管理

- 目標の達成に向けた進捗状況を把握し、年度ごとに進捗状況を公表する。
- 計画の最終年度である令和11年度に、計画の進捗状況に関する調査及び分析を行い、結果を公表する。
- 計画期間終了の翌年度である令和12年度に、目標の達成状況や施策の実施状況等、実績の評価を行い、その内容を公表する。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
第4期医療費適正化計画						第5期医療費適正化計画		
取組の開始	取組の検証				第4期 暫定評価 第5期 計画策定	第4期 実績評価	毎年度、進捗状況の公表	
	毎年度、進捗状況の公表						毎年度、進捗状況の公表	

医療費の見通し(厚生労働省提供の推計ツールにより算出)

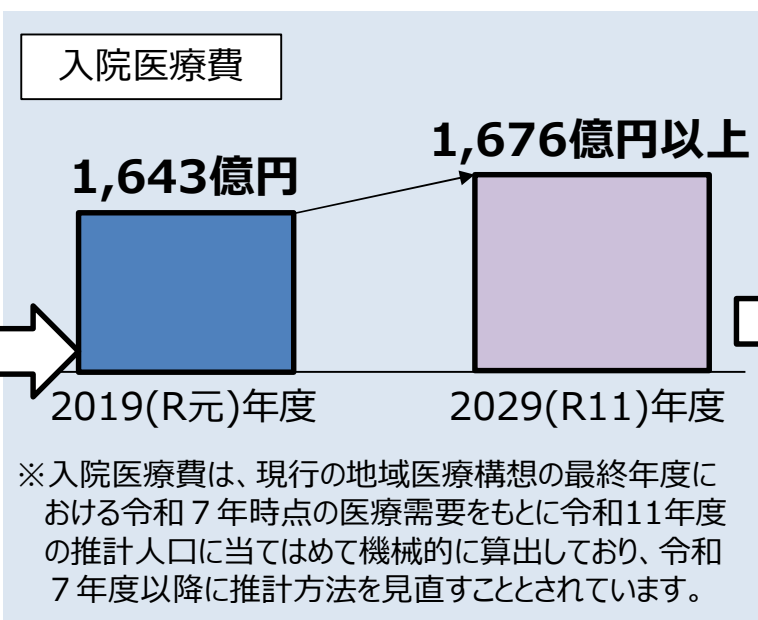
【2019(R元)年度の医療費（実績）】



病床機能の分化・連携の推進の成果

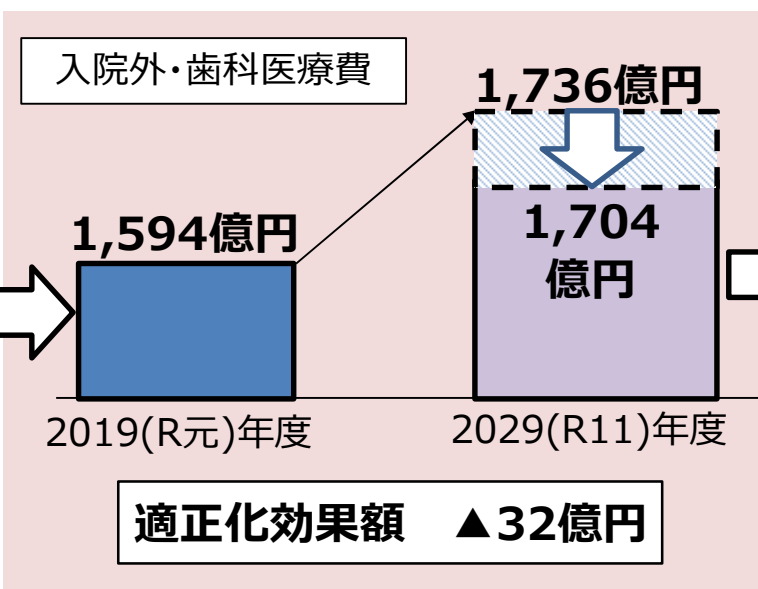
患者の状態に応じて病床機能の分化・連携を推進

【適正化の効果（2019(R元)→2029(R11)）】



医療費適正化の取組み

- ・特定健診・保健指導の実施率向上
- ・糖尿病の重症化予防
- ・後発医薬品の普及促進
- ・バイオ後続品の普及促進
- ・重複多剤投薬の適正化
- ・急性気道感染症、急性下痢症に対する抗菌薬処方適正化
- ・白内障手術の適正化
- ・化学療法の適正化



【2029(R11)年度の医療費（見通し）】



制度区分別医療費の推計(厚生労働省提供の推計ツールにより算出)

○市町村国保

単位：億円

単位：円

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	1人当たりの保険料の 機械的な試算(月額) (2029(R11))
適正化前	638	624	616	612	612	615	6,714
適正化後	632	618	610	607	606	609	6,651
適正化効果	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲63

○後期高齢者医療制度

単位：億円

単位：円

	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	1人当たりの保険料の 機械的な試算(月額) (2029(R11))
適正化前	1,472	1,526	1,574	1,618	1,657	1,693	7,851
適正化後	1,458	1,511	1,559	1,602	1,642	1,678	7,779
適正化効果	▲14	▲14	▲15	▲15	▲15	▲16	▲72

※厚生労働省提供の推計ツールにより算出された本県の医療費の見通しを基に、同ツールで機械的に算出したもの。

※被用者保険等については、加入者が都道府県をまたいで所在することが多いため、算出していない。

※市町村国保の1人当たり保険料については、医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分により構成されるが、当試算においては、後期高齢者支援金分及び介護納付金分は含んでいない。

※実際の保険料は、医療費の動向や財政状況、制度改正などの要因に大きく影響を受ける点に留意が必要。

目標と目標達成に向けた取組

健康の保持の推進に関する達成目標

医療の効率的な提供の推進に関する達成目標

現状と課題

壮年期の死亡者数 (人口10万人当たり) ・男性 高知県 395.9人 全国 348.6人 ・女性 高知県 167.1人 全国 177.7人 (出典: R3人口動態統計)	生活習慣病による受療者数 (人口10万人当たり) ・脳血管疾患(脳卒中) 男性 292人(1位) 女性 390人(1位) ・虚血性心疾患 (狭心症、心筋梗塞) 男性 70人(15位) 女性 57人(8位) (出典: R2患者調査)	特定健康診査実施率 高知県 53.7%(28位) 全国 56.2% 特定保健指導実施率 高知県 24.4%(32位) 全国 24.7% (出典: R3厚生労働省提供データ)	特定健診から推計した糖尿病有病者数と予備群 ・糖尿病が強く疑われる者(有病者) H26 R2 男性 18,889人 → 23,593人 女性 10,116人 → 12,472人 ・可能性を否定できない者(予備群) H26 R2 男性 15,953人 → 19,909人 女性 17,046人 → 20,807人 (出典: 市町村国保・協会けんぽ「特定健診実績」)	後発医薬品の使用率 高知県 80.3%(45位) 全国 83.2% (出典: R4調剤医療費(電算処理分)の動向)	平均在院日数 高知県 39.7日(1位) 全国 27.3日 ※介護療養病床除く (出典: R3病院報告)	病床数 人口10万人あたり 高知県 2,298.0床(1位) 全国 1,185.5床 ※介護療養病床除く (出典: R3病院報告)	医療費(入院) 後期高齢者一人あたり 高知県 724千円(1位) 全国 467千円 (出典: R3年度後期高齢者医療事業状況報告)
--	---	--	---	---	---	---	--

令和11年度目標と取組

目標① 特定健診実施率 70%	目標② 特定保健指導実施率 45%	目標③ メタボ該当者及び予備群 H20年度に比べて 25%以上減少	目標④ 20歳以上の喫煙率 男性20%、女性5%以下 受動喫煙の機会を有する人の割合 家庭3%、職場10%、飲食店4.8%以下	目標⑤ がん検診受診率 (40~50歳代) 60%以上 精密検査受診率 (地域・職域) 90%以上	目標⑥ 1日1回以上健康 パスポートアプリを 利用している人数 (月平均) 23,000人	目標⑩ 後発医薬品の 使用割合 全国平均並み (R6見直し予定(国で検討))	目標⑪ バイオ後続品 80%以上置き換わった成分数が全体の60%以上 (全国目標)	目標⑫ 効果が乏しいことが指摘されている医療 急性気道感染症、急性下痢症への抗菌薬処方 の50%削減 (推計ツール上の目標値)	目標⑬ 外来化学療法実施件数 基準値より増加 (基準値: 21,947件 (R3))
目標⑦ 生活習慣病等の重症化予防の推進 ○循環器病対策 ・降圧剤服用者での収縮期血圧140mmHg以上の人の割合(特定健診受診者) 30%未満 ・収縮期血圧の平均値(40歳以上) 130mmHg以下 ・収縮期血圧130mmHg以上の割合(40歳以上) 45%以下 ・脂質高値(LDLコレステロール160mg/dL)以上の人の割合 男性7.6%、女性5.6%		○糖尿病性腎症重症化予防対策 ・糖尿病性腎症による新規透析患者数 100人以下 ・HbA1c 8.0%以上の割合 1.15%以下 ・指導成功率 未治療ハイリスク者50%以上/中断者70%以上 ・糖尿病有病者(糖尿病が強く疑われる人)の割合増加させない		目標⑧ 高齢者に対する予防接種(肺炎球菌、インフルエンザ)の推進	目標⑨ 高齢者の心身機能の低下等に起因した疾病予防・介護予防の推進	目標⑭ 医薬品の適正使用の推進 (重複投薬の是正等) (電子処方箋の普及啓発)	目標⑮ 医療資源の投入量に地域差がある医療 白内障手術の外来促進 (リフィル処方箋の活用)	目標⑯ 骨粗鬆症検診の実施 17市町村受診率の増加	目標⑰ 病床機能の分化及び連携並びに地域包括ケアシステムの構築の推進
第5期高知県健康増進計画(よさこい健康プラン21) ○特定健診・特定保健指導の実施率向上への取組 ○メタボ該当者・予備群の減少への取組 ○生活習慣病対策 ○骨粗鬆症対策 ○たばこ対策 ○高血圧対策 ○がん検診の受診率向上への取組 など			第4期高知県がん対策推進計画 ○がん予防・がん検診の充実 ○持続可能ながん医療の提供 ○安心して暮らせる社会の構築 ○これらを支える基盤の整備 など		第8期高知県保健医療計画 ○医療提供体制の充実 ○地域医療構想の推進 ○後発医薬品の使用促進 ○医薬品の適正使用の推進 など		第9期介護保険事業支援計画 ○地域包括ケアシステムの深化・推進 ○認知症施策の推進 など		その他 ○予防接種の普及啓発 ○予防接種体制の維持



医療費推計

医療費の見通し(令和11年度) 1. 適正化前 3, 4 1 2 億円以上 2. 適正化後 3, 3 8 0 億円以上 3. 効果額 3 2 億円	【参考】 令和3年度 県民医療費 3, 2 2 4 億円(全国 4 5 兆円) ・一人あたり県民医療費 4 7 1 千円(1位)(全国 3 5 9 千円) ・一人あたり県民医療費(入院) 2 2 6 千円(1位)(全国 1 3 4 千円)	厚生労働省提供ツールを使用して医療費の見通しを算出 ○入院 : 病床機能の分化及び連携の推進の成果を踏まえて推計 ○入院外等 : 自然体の医療費見通しから、後発医薬品の普及による効果、特定健診・保健指導の実施率の達成による効果等を踏まえて推計
---	---	---